



在宅医療でできる治療について

在宅医療でできる治療についてお話しします。

私が関わっている患者さんの多くは、①がん、②パーキンソン病や脳梗塞などの神経疾患、③慢性



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

閉塞性肺疾患、間質性肺炎などの慢性呼吸器疾患、
④繰り返し誤嚥に伴う肺炎、⑤糖尿病、⑥床ずれ、
などです。以下、少し具体的に説明します。

①がん 痛み管理の多

くは麻薬（飲み薬や貼り薬、皮下点滴など）の薬剤投与を含めた薬剤管理です。麻薬管理では困難な場合は、ご家族と慎重な協議のもと、鎮静剤投与を行い、患者さんの意識を少しぼかして痛みを

取り除きます。
②③④肺炎等 薬剤投与を点滴で行ったり、息が苦しい状態が続くなら酸素療法を始めます。痰がひどければ吸引器を導入することもあります。人工呼吸器を使用されている場合は、動脈から血液を採取し、体の中の酸素や二酸化炭素を評価したうえで調整します。安定させることで、気管切開の時期を遅らせられたケースもあります。

⑤糖尿病 内服がしつ

かりされず血糖管理が不良の場合、往診時に薬剤投与します。週1回の内服薬や注射薬の投与により、著明に血糖管理が改善した例もありました。

まで見えるほどのひどいケースもありましたが、壊死組織を切除し、洗浄し続けたら完治した方もいました。
総じて言えるのは、内科的治療であればご自宅でも非常な簡単なものであれば対応は可能です。当院では在宅療養で適切な医療サービスを提供することを心掛けています。

⑥床ずれ治療 腰の骨

善した例もありました。

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
 ■定休日：土日（祝日は診療）
 ■訪問地域：西東京市全域、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック